

すたんどばいみー的实践

—気になる子どもにこだわって—



2月25日、26日すたんどばいみーによるモビリア子ども支援が行われ、今回の支援をもって最後となりました。今回の陸前高田は、前回と同様雪に見舞われた中での活動となりました。いつもと変わらず、土曜日の朝から子どもが生活する仮設住宅の戸をたたき、一人ひとり呼び集め、また活動に参加する中学生は在宅であるため、かれらの家々を周り車に乗せて仮設の集会所に集まって行きます。いつの間にか、仮設の集会所には17人の子どもが集まりました。雪が深々と降る中、子どもの声が仮設集会場からなり響きながら朝の学習が始まり、今日もいつもと変わらないすたんどばいみーの活動がスタートしました。

【いつもの朝学習とモノづくり】

17人も子どもが集まると当然ながら3人のばいみースタッフでは手におえず、急きょ運転手であるチャイさんや、中学生にも低学年の勉強を手伝ってもらうことになりました。がしかし、人数が集まれば集まったで、子どもたちの集中力はどこかへと逃げて行きました。部屋を駆け回るもの、ゲームを出すもの、おしゃべりをするものと、どんどん収集がつかなくなり、苦戦した午前の活動となりました。

午後からは、万華鏡作りと、かまくら作りをしました。万華鏡は、すごく簡単にでき、簡単なわりには、その穴をのぞくとだれもが驚きを隠せないものとなりました。三枚の長方形の鏡をセロハンテープで張り合わせ、先端にビー玉をつけるのですが、何かを通してその穴を覗くと、お互いの鏡の反射によって、なんともきれいな模様が浮かんできます。穴を覗く度に、子どもたちから「ウワ～」と感動している様子が伺えました。その後、外に出て雪をかき集めみんながかまくら作りをしました。ばいみースタッフの中からも「かまくらを完成させたの、初めてだ～」と言う声もありました。また、室内では全くスタッフの話の聞いてくれない子も、かまくら作りはとても活躍していて室内だけでの活動に反省をしました。

【思い出のアルバム】

今ですたんどばいみーでは、活動の度に写真を撮ってきました。今回は、写真を、一枚一枚現像し、一人ひとりにアルバムにして子どもたちに渡しました。いつかばいみーと活動した事を思い出してもらったり、また自分の成長の変化を見てもらうために。また、去年の4月から子どもたちの表情が変化していくのを見て、まるで近所の叔父さん叔母さんが久しくあっていない隣の子にあった時のように、「あらま～こんな大きくなって～」といったように、子どもの表情や顔つきの変化にどこかうれしさを感しました。しほしのお別れを告げ、一人ひとりを家に送っていく間、かれらの口から「また来るんで



しょ！？」と聞いてくる子がいたようです。これからかれらが成長していく中で、この一年間すたんどばいみーと過ごした日々をかれらの記憶の1ページとして刻まれたかと思うと、うまく言葉で表現できませんが、うれしいようで、苦しいような気持ちになりました。

【続く課題…】

一日目の活動が終了し、八起プロジェクトの方と話す機会がありました。そこで、八起の方から、「仮設で生活している人と在宅で生活している人の関わり合いがないから、八起としてはそこをなんとかしたい。まだ先はまだ長い」との話がありました。このままだとお互いが遠い存在になってしまう事を危惧しているように思えました。先は長いけど、なんとかやってみようというその思いに強さを感じました。

震災発生から間もなく一年を迎えようとしている今、そこで生活している人々の新たな挑戦が始まろうとしています。すたんどばいみーもできれば支援から離れますが、そばにいらなくてもできる支援を考えていきたいと思えます。

※ここまでは、チューブサラーンさん(すたんどばいみースタッフ)からの報告です。

【中学生とのお泊まり会】

すたんどばいみーによるモビリア子ども支援は、2月末のお別れ支援の後、3月上旬に中学生4人とお泊まり会が行われました。この子どもたちは、モビリアが避難所であった頃に出会った子どももいれば、避難所閉鎖後に加わった子どももいます。すたんどばいみーのメンバーが、お別れ支援の後に、どうしても中学生とお泊まり会をしたかったことには、わけがあります。それは、震災前から不登校となっていた一人の中学生が、震災後、登校できるようになっていたのですが、10月あたりから、また不登校になっていたからです。このように、再び学校に行かれない状況になりつつも、その子は、すたんどばいみーの子ども支援にはずっと参加できていて、すたんどばいみーのスタッフも、Ed.ベンチャーが学校訪問の際に得た情報を聞くまでは、全く知らない状態でした。つまり、そのくらい、すたんどばいみーの支援でその子の様子は変わらなかったのです。となれば…、何かのきっかけや、今起きている事態が少しでも変化すれば、また登校できるようになるのではないかと、そんなことが考えられていました。

ところが、それと同じような想いを、小友中学校の校長先生ももっていたのでした。お泊まり会が企画された少し前に、校長先生はその子の家庭訪問を行っていました。そして、そのお泊まり会の日も、土曜日でお休みの日でしたが、学校から見送りたいと連絡をいただき、急遽、お泊まり会のスタートは「学校」になりました。すたんどばいみーのメンバーは、これまでも神奈川で外国人の子どもたちと学校をつなぐ



取り組みを続けてきました。それは、子どもの変化は、子ども自身の変化よりも周りの変化の方がずっと大きい影響があり、その積み重ねの中で、子どもも変化していくことを知っているからです。「使えるものは使う」という姿勢が校長先生に対してあったのだろうと思います（もちろん、校長先生にとっても、それは同じことかもしれません）。後で聞いた話ですが、お泊まり会の夜、男は男同士、女は女同士で、いろいろ突っ込んで話をしたそうです。その話を聞きながら、すたんどばいみーが、いちよう団地で外国人の子どもたちと向き合いながら、最も大変な子ども、最も気になる子どもに焦点をあてて実践をおこなってきた「すたんどばいみー的实践」を見ている気がしました。そして、最後には、「見送ってくれた校長先生へのおみやげだから、必ず渡してね」と、不登校になっている中学生に、おみやげを委ねました。もちろん、参加している他の3人の中学生も、その意味がわかっています。そして、一旦「さよなら」になりました。

後日談ですが、その子は翌日、学校には行かれなかったそうです。しかし、数日後には学校に行ったそうで、すたんどばいみーのメンバーに連絡が入ったそうです。「校長先生が、気を使わなくても良かったのによって言ってくれたよ」と。その後も、登校は継続しているようで、その子にとっても、すたんどばいみーにとっても、そして、おそらく学校にとっても、新たなステージが出来上がったお泊まり会になりました。

【旅行に参加した子どもたちの作文】

■3月3日、4日の花巻旅行は、楽しかったです。

私の初体験は、とうげいです。初めてとうげいを作ってみてあまりうまくできなかったけど楽しくできたのでよかったです。みんなのもじょうずでした。いちばんじょうずだった人は、家上さんと清水さん、〇〇ちゃんです。ホテルにいったときは、すごくきれいでした。ばらえんにいって、花はかれてたけど、さんぼして楽しかったです。少しゲームセンターによってみて、こんなふうなんだなあと思いました。

お風呂に3回はいりました。つかれがとれてよかったです。2日目は平泉をけんがくしました。いちごがりができなくてさんねんでした。でも平泉にいておみくじができてよかったです。平泉は、6年生のときも見学にいったので2回も見学できてよかったです。

平泉でねこをみかけました。ふとってたけどかわいかったです。

すたんどばいみーにあえてよかったです。

めったに家族とはりょこうに行くことがないので、すたんどばいみーと一緒に旅行にいかけてよかったです。

■二月上旬にわたしは、旅行に行けることを知りました。そのときは、どこに行くか楽しみでした。

旅行は、岩手県内だと分かって、まだ行ってないところに行ってみたいと思いました。

土曜日には、とうげいをやりました。テレビで見たことはあるけれど、やるのは初めてでした。難しそうだな～と思いながらやっていたけど、楽しかったです。形を整えるのは難しかったけれど、表面にもようをほるのは楽しかったです。自分で作った作品が数ヶ月後に来るらしいので、どんな風になっているのかが楽しみです。

ホテルは、前に何回も行っている花巻温泉でした。バラ園はバラがかかれていたし、滝の近くには雪がたくさんあって進めず、周りの観光は思うようにできなかったのが残念だったけれど、ホ

テルの料理はすっごくおいしかったです。料理はバイキングではなく、舟盛りやみぞれ鍋が出たので、とてもよかったです。食べた後は、温泉めぐり(?)ということで、サラーンと英理と◇◇ちゃんたちと一緒に旅館をまわりました。わたしは二つ目まで入って、のぼせてしまいました。夜はなかなか眠れなかったです。

日曜日は、ホテルでチェックアウトしたあと、平泉に行きました。六年生のときに一回行ったけれど、今回は“世界遺産”として行きました。前とはふんいきが違っているようにもかんじました。また、中尊寺にはネコがいたので思わず遊んでしまいました。

わたしは、今回の旅行で、初めて体験したこともあるけど、改めて感じたり、体験したこともあります。すたんどばいみーの人にはあとしばらく会えないけど、また一緒に旅行したいです。

■3月3日、4日の花巻旅行に行ってきました。

一日目は、とうげいを作りました。みんなは、うまく作っていたけど、自分は、うまくいかなかったと思いました。でも、がんばれてよかったです。犬も、みれてよかったです。

二日目は、平泉に行きました。坂をのぼるとき歩といっしょにすべってまたのぼりました。こんじきどうは中がとてもきれいでした。〇〇は、なにをやってるかなと思っていたけど、修学旅行でも行ったので、二回目になりました。歩といっしょに卓球もやりました。負けたけど次の旅行?(あるかな?)あったら、次は勝ちたいと思いました。また、楽しい旅行に行きたいです。おじさんも「花巻に行ったこともない」と言っていました。一回家族と一緒にいきたいです。

■花巻に旅行に行って楽しかったし、かなり疲れた。思い出に残っているのが、2つある。一つは、偶然たち寄ったロシア料理店で食べたピロシキがおいしかったし、コロッケはおいしかったけど、すこし臭かった。その後陶芸に行き、ホテルが一番楽しかったけど、瓶を取ったら料金が掛かる奴で一番腹が立ったけど、その後の食事は豪華で、舟盛りや、鍋がおいしかったし、その後、風呂入って、歩と卓球して、俺と◎◎でボロ負けだったけど楽しかった。その後☆ちゃんと◇の姉ちゃんと、一緒にUNOなどして、歩と十二時まで話をして、その後財布を探して、結果金庫にあったとか、いろいろアクシデントがあったけど、楽しい旅行だった。ばいみーに感謝したいなと思った。

【支援隊活動記録（陸前高田）2月25日～3月4日】

■陸前高田 すたんどばいみーのモビリア子ども支援

○2月25日～26日（第34回）

□支援隊メンバー：チューブサラーン・宮脇英理・西岡歩（すたんどばいみー）、グイキムチャイ（会社員）

○3月3日～4日（第37回）

□支援隊メンバー：チューブサラーン・宮脇英理・西岡歩（すたんどばいみー）、家上幸子（Ed.ベンチャー事務局長）、清水睦美（東京理科大学）

今後の継続的な支援の活動のために広く寄付を募っております。

横浜銀行 中央林間支店 普通6018180

Ed.ベンチャー東日本大震災支援（Edベンチャーヒガシニホンダイシンサイシエン）

NPO法人教育支援グループ Ed.ベンチャー

〒242-0007 大和市中央林間 3-16-12-107

Tel/Fax:046-272-8980 e-mail: toiwase@edventure.jp

